

品質保証

品質方針

当社グループは、品質を価値創造の基盤と捉え、社会から信頼される製品・サービスの提供を通じて持続的な企業価値向上を目指します。

設計・計画段階からのリスクの未然防止とデータ重視の継続的改善により、品質コストの最適化を実現して強固な経営基盤を構築してまいります。

品質保証推進体制

永続的な企業基盤の強化を支える機能として品質保証を位置付け、コンプライアンスの徹底とともに、設計・開発段階からリスクを未然に防ぐ予防型の品質保証を推進しています。さらに、データに基づく継続的改善と失敗コストの削減を進めることで収益力を高め、持続的な企業価値向上を目指しています。

具体的な活動

① 予防型の品質保証への転換

不適合の是正中心から、設計段階・計画段階でリスクを洗

い出し、未然に防止する体制へ転換し、品質コストの最適化と信頼性向上を図っています。

② コンプライアンスの徹底

トレーサビリティやデータの信頼性確保を強化しています。また、コンプライアンス教育等により不具合を隠さない風土の醸成に努めています。

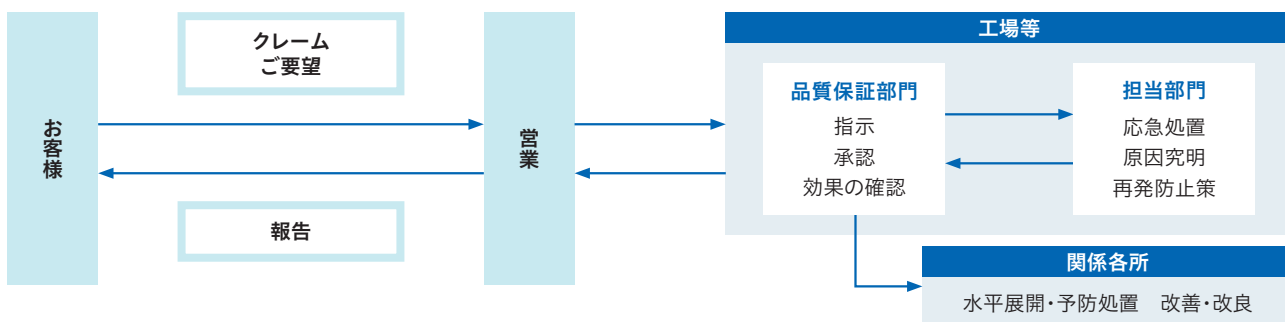
検査結果の人為的改ざんや入力ミスを防止するため、検査から帳票作成までを自動化するシステムを導入しています。

③ データ活用による継続的改善

再発クレーム発生件数や失敗コストをKPIに定め、情報・データの解析と水平展開により再発防止を強化して競争力向上と収益基盤の強化を図っています。

お客様からの声に対応する仕組み

当社グループでは、お客さまに満足かつ安心していただける製品やサービスを提供するために、クレームやご要望事項を製品改良、工程改善、作業改善、設備修繕などの改善機会と捉え、品質マネジメントシステムの継続的改善に努めています。



物流安全

安全輸送・納入の推進体制

製品を安全にお届けすることは、化学メーカーとしての社会的責任の一環です。当社各事業所では、輸送会社と協議会を組織し、継続的な対話を通じて安全課題を共有し、指差呼称やバック時の降車確認など基本動作の徹底を推進しています。また、新規納入先については事前に受け入れ設備の確認を実

施し、安全に納入できる体制を確立しています。さらに、アクシデントやインシデント等の情報のみならず、客先設備等の改善要望事項を当社グループ内で共有し、輸送リスクの低減を図っています。こうしたサプライチェーン全体での安全文化の醸成を通じ、安定供給と社会的信頼の維持向上を目指しています。

TOPICS

当社グループでは、危険物や劇物などの化学物質を輸送するドライバーを対象に、定期的に合同安全会議を開催し、化学物質の性状を教育するとともに、誤納入などのヒューマンエラーを防止するためのディスカッションや実演訓練を実施しています。管理者のみならずドライバー一人ひとりが参加する安全管理により、持続可能な事業運営を支えています。



実演訓練の様子



講習の様子